

大阪労山ニュース 2023年5月号 もくじ

- p 1ボイス・クリーンハクニュース（澤村自然保護委員長）
- p 2自然保護委員会からの報告（澤村自然保護委員長）
- p 3平和と登山委員会（大西委員長）
- p 4女性委員会（榎本委員長）
- p 5山の教室 案内（スタッフ木村さん）
- p 6夏山セミナー 開催ビラ
- p 7山楽登山の世界（中川顧問）
- p 8編集後記とOWAF案内
- p 9事故一報用紙

Voice コロナを恐れず、多面的で楽しいクリーンハイクを！！

自然保護委員長 澤村

今年のクリーンハイクの準備は、新型コロナにおびえることなく（油断するつもりではありませんが）、4月14日で大阪府を含む17の自治体へ協力要請文書の発送を無事終わりました。

そして2～3の自治体より行事名が去年：第50回・・・であったが、今年も第50回??との問い合わせがあり、「大阪は全国よりも1年早く開始したので、去年までは全国の回数よりプラス1でしたが、今年からはそのようなこだわりは止めて、全国と同じ回数とします」と回答すると、あっさり納得していただきました。

今年より全国のアピールと大阪労山の行事名は同じ回数です。ご安心ください。

毎年多くの山域から「ごみは少なくなった」と報告がありますが、自治体に提出した実施内容は

- ① 登山道を中心に空き缶などゴミの回収 ②一般登山者、ハイカーにゴミ持ち帰りの呼びかけ
- ③ 産業廃棄物等の不法投棄の調査 ④自然環境の現状と問題点の調査

ですので、①だけではなく、②のため、クリーンハイクの腕章着用とか大きな袋を目立つように手に持つなど工夫してください。また、③は多く見られると思いますので注意して回収するなり、写真に収めて自治体に報告してください。私にそれらの情報を寄せていただければ、自治体に対する報告書に同封させていただきます。④は、数年前の台風被害の倒木が益々登山者の背丈に迫り頭突きしそうになっています。倒木ノコギリ処理あるいは赤布をたらし、頭突き防止処置など行ってください。その報告もお願いします。

久しぶりの大人数の集いとなりそうですので、会員拡大につながる工夫も行ってください。

山頂でザイルワークなどの訓練（デモンストレーション）などはいかがでしょう。

自然保護委員会の報告

自然保護委員会委員長 沢村秋則 072-264-6138

sawadesu@ares.eonet.ne.jp

下記内容で4月の自然保護委員会を開催します。是非ご参加ください。

記

★ と き：2024年 4月13日（木） 午後7時～9時 **Zoom 会議**

★ と ころ：大阪府勤労者山岳連盟事務所（JR 野田駅徒歩7分・tel 06-6467-8544）

★ 議 題

1. 憲章の実践 4月13日現在 沢村：sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

+ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m 以上での目撃に限ります。 ()：前期

らいちょう 0件（7件） 鳥獣 0件（7件） 昆虫 0件（0件）

+ 倒木対策 3件（5件）

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を！自治体および私に連絡してください。

4/4、泉州労山の澤村が雲山峰ハイクで頭突きした倒木、1本をノコギリ処理。

頭突きしそうな枝に赤布取り付け（2箇所）。

+ 下山時にクリーンハイクを 1件（2件）

4/4、泉州労山の澤村が雲山峰ハイクで空き缶、ペットボトルなど4個回収。

+ 定点写真観察活動（山岳自然の異常現象とかゴミ問題など）

明星が岳山頂のトウヒ、シラビソの写真をお願いします。すごい勢いで復活中。

2. 署名活動

リニア中央新幹線建設による南アルプスの自然を壊させない

静岡県内8市2町：「水、ぶれない一歩も引かない」と確認。

大阪労山・合計：1962筆

全国連盟は17224筆

3. 6月4日・クリーンハイク準備

4月5日、大阪府庁および15市町村に後援名義使用許可など協力依頼文書を発送。

未発送は、枚方市、千早赤坂村 4/4、発送済

4月17日、大阪府より後援名義使用許可到着

4. その他

6/17、18・自然保護担当者会議 埼玉県長瀬にて

講演：元環境省 山岳レイジャー 森考順氏

「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」

大阪労山の参加につき、**1名分の旅費、宿泊費が全国連盟予算より出ます** どなたか参加を

里山調査報告 泉南市・畦の谷

箕面聖天山～オケ原

茨木丘陵・鉢伏山 6時間 シュンラン

平和と登山のページ (2023年4月)

平和と登山委員会

大西清見 (泉州勤労者山岳会)

2023年国民平和大行進

2023年国民平和大行進が例年通りの日程で実施されます。まだ確定ではありませんが、大阪府内の幹線コースは、次の通りとなっています。平和行進の実施要項が決まり次第、連絡を致しますので、各会友人をお誘いして平和行進に是非ご参加ください。よろしくお願ひします。

【平和行進・幹線コース】

- ◎6月30日(金) 柏原市役所(大和川河川敷)→八尾市役所→岩田公園
- ◎7月1日(土) 河内長野市役所→富田林市役所→羽曳野市役所→藤井寺市役所→松原市役所
- ◎7月2日(日) 泉佐野市役所→貝塚市役所→岸和田市役所→忠岡町役場→和泉市役所
- ◎7月3日(月) 和泉市役所→泉大津市役所→高石市役所→浜寺公園→石津太神社→堺市役所
- ◎7月4日(火) 住吉区役所→大阪城・教育塔前→都島区役所→旭区役所・大宮南公園
- ◎7月5日(水) 守口市役所→門真市役所→友呂岐公園→寝屋川市役所→枚方市役所
- ◎7月6日(木) 高槻市役所→茨木市役所→摂津市役所→吹田市役所
- ◎7月7日(金) 豊中市役所→池田市役所→兵庫県・川西市役所

5月3日憲法記念日・おおさか総がかり集会

輝け憲法！平和といのちと人権を！おおさか総がかり集会

日時：5月3日（水、祝日）午後4時～

場所：扇町公園（JR環状緯天満駅より約5分）

プログラム：①メインスピーチ・猿田佐世（弁護士）②ライブ・アカリとトバリ（うた、三味線、ギター）③野党からの挨拶④市民アピール 終了後、市民パレード

集会規模：3000人

労山からの参加者は午後1時30分、公園東側入口に集合して下さい。「平和と登山」の幟が目印です。当日の集会の担当者は大西清見（連盟理事、泉州労山）。

第52回戦跡ハイキング 3月25日（日）

京都府綾部市上林地区 ミツマ群生地、大トチを訪ねて

今回の戦跡ハイキングは諸事情で予定を変更して（舞鶴引揚記念館、赤レンガ館をキャンセルして）綾部市北東部の上林地区の自然を日帰りで訪ねることにしました。参加者は6名（キタロウ、KONK、ハイジ、こもれば、福島、泉州）、マイカーに分乗して綾部へ。綾部市老富では、黄色い可憐なミツマタが杉林一面を埋め尽くし、幻想的な光景に包まれていました。参加された方もミツマタの群生は想像以上で来年は会山行で大勢を連れてきたい、と仰っていました。君尾山への登山道近くには大トチがありました。樹齢2000年とも云われ、主幹の周囲は10.4m、樹高は、23mあり、栃の木では京都府一の巨木だそうです。巨木で集合写真を撮るにもなかなかデジカメには収まりません。大トチの近くには国宝光明寺仁王門があり、二王像の力強い金剛力士像も見応えがありました。（大西）

▲△女性委員会ページ▲△

第27回女性のための登山教室報告



3回の座学を終了し4月16日(日)六甲の実技は1人欠席の3名で実施した。

読図、三点支持の基礎を取り組んだ。今回のセミナー生は比較的若い人ばかりで、やる気満々でスムーズに進みました。ロックガーデンの正面テラスも最初、え〜ここ登るのって感じだったが安定した登りでした

第2 鉄塔の場所で岩場練習したがロックガーデンで何回か練習していたのでスイスイさすがです！！

登山教室は初心者対象に取り組んでいるが、今回も普段の運動不足で3回も足がつってしまった方もいたが幸いなことにセミナー生に看護婦さんがいたので安心だった。

実技後のセミナー生の声

- * 岩場がきっちり登れた。
イタドリを初めて食べた
- * 思っていたよりもキツかった。
筋力を鍛えないとダメと痛感。
- * 岩場の昇り降り他色々勉強になった
本当に楽しかった



2回目の実技は大岩岳5月14日(日) (読図)セミナー生に順番で先頭を歩いて貰う予定をしている

大阪労山「山の教室」

今年度は徐々に事務所で対面での講座を復活させていきます。また可能なものはリモートも併用していきます。事務所だけの座学、リモートのみ、事務所とリモート併用、実技の4種類になりますのでご注意ください。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。

kyouikusoutai@osaka-rousan.com

◆今年度日程

日付		科目	種別	主講師	主担当	受講料	定員
4月12日	(水)	春山の気象	リモート	河野仁	高田和孝	¥500	—
4月18日	(火)	ハイキングレスキュー 入門編	座学	日高博	木村治朗	¥500	15
4月23日	(日)	ハイキングレスキュー 入門編	実技	日高博	木村治朗	¥1,000	15
4月25日	(火)	パーティー論リーダー論 入門編	リモート併用	中川和道	三宅康文	¥500	—
5月9日	(火)	ハイキングレスキュー リーダー編	座学	日高博	木村治朗	¥1,000	10
5月14日	(日)	ハイキングレスキュー リーダー編	実技	日高博	木村治朗	¥1,000	10
5月20日	(土)	地形図の読み方 入門編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
5月21日	(日)	地形図の読み方 入門編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
6月13日	(火)	遭難事例研究(無雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
6月14日	(水)	応急手当 入門編	座学	柳川憲一	木村治朗	¥500	15
6月20日	(火)	夏山の気象	リモート併用	山本賢治	高田和孝	¥500	—
7月11日	(火)	遭難事例研究(無雪期) 応用編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
8月30日	(水)	アルパ・インクラミングのための制動確保 入門編	座学	中川和道	木村治朗	¥500	12
9月3日	(日)	アルパ・インクラミングのための制動確保 入門編	実技	中川和道	木村治朗	¥1,000	12
10月3日	(火)	パーティー論リーダー論 応用編	リモート併用	中川和道	三宅康文	¥500	—
11月11日	(土)	地形図の読み方 スキルアップ編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月12日	(日)	地形図の読み方 スキルアップ編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月14日	(火)	遭難事例研究(積雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
12月12日	(火)	遭難事例研究(積雪期) 応用編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
12月19日	(火)	冬山の気象	リモート併用	高田和孝	山本賢治	¥500	—
1月16日	(火)	山の病気予防	座学	中川和道	木村治朗	¥500	15

◆5月・6月の講座

➤ ハイキングレスキュー(リーダー編) 座学/実技

日時：5/9(火) 19:30~21:30(座学) 5/14(日)9:00~15:00(実技)

場所：5/9(座学) 連盟事務所 5/14(日) 奥山雨山自然公園(日根野集合)

費用：各講座 1,000円





大阪府勤労者山岳連盟主催

第28期夏山 ハイキングセミナー 受講生募集

2023年5月24日スタート

歩き方の基礎から装備、読図、食糧計画、テント泊までを行い
修了山行では木曾駒ヶ岳を目指します



山仲間つくろう！

「山に行ってみたいけれど経験がない。」 「まわりに教えてくれる人がいない。」
「一緒に山に行く仲間が欲しい。」 などなど悩んでいるみなさん！
毎回受講生の皆さんは多くの仲間と感動を得て卒業しています



ブログ
やってます

申し込みはこちらまで : <http://hiking-seminar.com>

大阪府勤労者山岳連盟



百丈やぐらから石岡繁雄氏がピット-シューベルトに渡したエッジ試験基準

OWCC 中川和道

2000 年 5 月 20 日にピット-シューベルト氏が百丈やぐらを訪れた[1]。大阪府連技術委員会は来日前から彼の著作の日本語訳を入手し、技術交流を準備した。交流の内容は写真 1 や文献[2]で紹介された。本稿では写真 1 (労山 60 周年記念ビデオ「目で見る労山の歴史」15 分 02 秒目)で中川とピット氏が議論している「日本独特のロープのエッジ試験基準 (石岡繁雄氏らが策定、1975 基準交付)」について述べる。ピット氏は帰国後、石岡氏らのエッジ試験基準を UIAA 基準にして世界に広めた。百丈やぐらがその役割を果たしたことは、歴史的なことである。



写真 1. 労山 60 周年記念ビデオ「目で見る労山の歴史」15 分 02 秒目。

岩角での切断試験基準に大きな疑いをもって来日した UIAA 技術委員ピット氏を、石岡繁雄氏・伊藤正俊氏・

OWAF 技術委員会は、言わば「宿敵のように迎えた」(Y 崎さん談)。時はまさしく貿易摩擦解消と称して海外の基準に沿って日本の輸入の法律を変えるべしとの議論が国会でなされ[3]、通産省役人 3 名がピット氏や西本武志理事長らに東京で面談し「日本の独自基準を UIAA はどうするか？」と尋ねたのである。西本氏の回想によれば、ピット氏は役人に向かって「日本のエッジ試験基準はうまく機能している。これを変える必要はない」と述べた、さすがに見識ある人だなあと思ったと中川に語った。通産省役人は黙って引いた、むしろ、お墨付きを得て安心したかのように見えた、と西本氏はいう。

石岡さんをご高齢のため百丈やぐらには来れなかった。残念。写真 1 でピット氏は「引張強度では強いから安全と言い、岩角では弱いから危険と言う、あなた方は矛盾だ」、中川は「岩角で弱点(Weak Point)があることはあなたも知っている。この弱点を克服する使い方をすれば、強さ Strength+弱点克服 Weak Point Overcoming =安全 Safety だ。この安全な使い方をするうえで岩角警告 Warning のテープ表示は必須だ。そうお思いでしょう」とか何とか、英語で必死にやりあった。Y 崎さんが中川の背後から「宿敵なんだろう、もっと戦えや」とはやし立てた。ピット氏は押し黙って中川の顔をじっと見つめた。反論はしなかった。思うに、あれは口頭試問だったのだろうか*。

この話には重要な後日談がある。数年後、購入した外国産ロープの「エッジ試験合格」表示に気づいた中川はピット氏が UIAA の基準にエッジ試験(UIAA108 条)を 2000 年に導入したことを初めて知った。文献[4]によれば、(1)エーデルワイスロープは 1984 年のストラトスが岩角テスト(角度 90°、エッジ角 R=0.75 mm)合格以来、シャープ、オキシジェン 8.2mm(2006 年)も合格。(2) UIAA シャープエッジ試験(UIAA108 条)は、EN892 基準や UIAA101 基準でのロープ支点に丸みを帯びたものではなく直角の金属を使う、(3)UIAA の安全委員会の一員であったシンギングロック社ではこのシャープエッジ試験(垂直落下)はあまり現実味がないと考え、実際の岩場で起きる可能性がある、「落下時にロープが鋭いエッジの上を斜めに通過したらどうなるか」という実験方法を開発し、ロープトラバーステスト(Tテスト)と名付けた。そしてドイツで 1 度そのテストをやってみた。参加したすべての会社の 10.5mm のロープが切断されてしまい、無事に生き残ったロープはなかった、などの経過を経て、(4)UIAA108 条は、2004 年に凍結(サスペンド)された。(5)それ以後も試験実施実績があるロープメーカーはエーデルワイス、エーデルリット、ベアールであった、という。

百丈やぐらは石岡氏のエッジ試験を世界に広めた登山の歴史的スポットとしてさん然と輝いている。

[1] 2000/5/20NHK ニュース 19 時で放映 中川所蔵。[2]<http://www.geocities.jp/rouzenkoku/jwaf-7.html> 体を浮かせ上がるボディビレーがごくわずかの効果しかないとの公開実験の結果は「620kgf がたった 50kgf しか減らないのか」と、労山の内外から反響を呼んだ。[3]第 103 回国会内閣委員会第 2 号昭和 60 年 11 月 19 日三浦久議員質問。 [4]Lynn Kato さんのブログ <http://lasfotos.blog5.fc2.com/blog-entry-729.html>

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

● 登録方法

公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分からない場合は直接登録いただいても構いません。

● 各会登録担当者様へ

各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただいています。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。



● 登録申請フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>

登録申請フォーム

編集後記

今月号から、事務局長が中心となって常任理事会として編集まとめをすることになりました。ドロップボックスを使って記事をまとめるなど

工夫をこらしています。

表紙写真はできるだけ各専門部の主催する活動を掲載していきたいと思っています。次の大阪労山を担うべき方々の瑞々しい活動がたくさんあります。その実態をできるだけ会員みなさんに伝えたいと思います。

裏表紙(表2と言います)はいい山の写真・思い出の山の写真を公募します。ぜひご寄稿ください。

高橋明代)

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれび通信（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2023年（令和5年）4月24日 No.446（5月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西

